

平成30年度
第1回 大磯町総合教育会議

「信頼関係による
学校づくりの実現」

平成30年8月28日
大磯町 政策総務部 政策課

平成29年度 総合教育会議のポイント

- ① 教員の多忙化への対応策
- ② 教員の質・能力の向上への取組み
- ③ 中学校の部活動の実情と対応策
- ④ 新たな学校教育環境の変化
- ⑤ 「学校」、「家庭」、「地域」の役割

教員の多忙化への対応策①

- 研修の回数や内容の見直し
- パソコンや校内LANの導入
- 校務支援ソフトの導入
- 時間外の留守番電話の設置
- 集金徴収業務の「公会計化」

教員の多忙化への対応策②

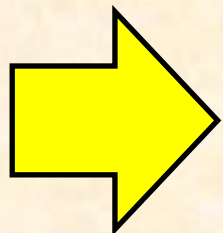
- ・ スクールソーシャルワーカーの充実
- ・ 専門相談員や相談室の設置
- ・ 専門教員の設置
(道徳、外国語、理科、体育)
- ・ 退職されたベテラン教員の活用

教員の質・能力の向上への取組み

- ・ ともに悩み、考え誠実に対応する姿勢
- ・ 児童生徒に目標や希望を持たせる教員
- ・ 「こんな先生になりたい」と思われる教員
- ・ 人間力の向上



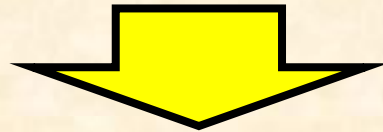
子どもたちに信頼される教員



「研修」と「経験」が必要

中学校の部活動の実情と対応策

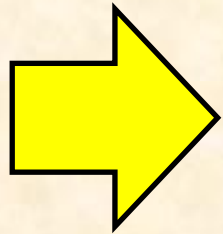
- ・ 休養を伴わない、行き過ぎた部活動
- ・ 勝利至上主義
- ・ 経験のない部活動顧問の負担感
- ・ 勝つだけが目的でなく、学ぶものもある



- ・ 適切な休養日・練習時間の設定
- ・ 外部指導員の積極的な活用

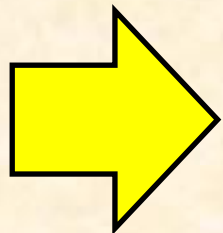
新たな学校教育環境の変化

- ・「**道徳教育**」の特別教科化
- ・「**外国語教育**」の導入



教員の更なる負担の増加

- ・ **学校の敷居の低下**
- ・ **先生への尊敬の念の希薄化**



学校・教員の信頼の低下

「学校」、「家庭」、「地域」の役割

- 「学校」と「家庭」の課題の共有化
 - 「学校」と「家庭」の両方で育てていく
- ⇒ 「家庭」の役割を伝える



「学校」、「家庭」、「地域」の
役割の明確化と連携

具体的な取組み

平成**29**年度は？平成**30**年度は？
そして、平成**31**年度以降は？

学校現場の教職員の意見①

【質・能力を向上させる機会の確保】

- 基本的な子どもたちへの接し方研修
- 問題行動を取る子どもに対する研修
- 授業づくりのための研修

～ 平成28年度 第2回総合教育会議より ～

学校現場の教職員の意見②

【子どもたちと向き合う時間の確保】

- 教育支援員・指導協力員の継続・増員
- 電話オペレーターの登用（OB教員）
- スクールカウンセラー・アドバイザーの配置
- 部活動ルールの改正（地域指導者等）
- 保護者ボランティアの育成

～ 平成28年度 第2回総合教育会議より ～

平成29年度からの新たな取組み

【質・能力を向上させる機会の確保】

- ・ 日常授業の改善・充実のための
幼小中相互訪問事業（研修）

【子どもたちと向き合う時間の確保】

- ・ スクールソーシャルワーカーの設置
- ・ 教職員のパソコンの入替え

【部活動の見直し】

- ・ 検討委員会等での検討の開始準備

平成30年度の具体的な取組み

【継続】

- ・ 研修の精選、見直しと拡充
- ・ 部活動ルールの見直し・検討
- ・ 教育支援員の配置（増員）
- ・ スクールソーシャルワーカーの拡充

【新規】

- ・ 校務支援ソフトの導入
- ・ 時間外の電話対応の見直し

平成31年度以降の 具体的な取組み（案）

【新規】

- ・ 専門の相談員・相談室の設置・充実
- ・ 専門教員の配置・充実
(道徳、外国語、理科、体育)
- ・ 退職されたベテラン教員の活用
- ・ 集金徴収事務の「公会計化」

信頼関係による学校づくりの実現

